

7月行事予定

8月行事予定

日	曜	朝活動	校内行事	給食
1	日			
2	月	朝会	安全点検 心の安全点検 クラブ⑤	○
3	火	朝読書	鍵盤ハーモニカ講習(1年)	○
4	水	群読	運動会企画部会	○
5	木	群読	通学班会 ALT来校	○
6	金	群読	図書最終貸出日 PTA生活環境部会 運動会実行委員会	○
7	土		1学年PTA学年行事 サイエンスアカデミー	○
8	日			
9	月	朝会	児童委員会⑦【児0】 水泳公開週間	○
10	火	りぼん	5年水泳公開	○
11	水	群読	ALT来校 特支水泳公開	○
12	木	群読	1・2・4・6年水泳公開 たてわり遊び② 特支調理実習	○
13	金	式	創立記念式 図書返却日 3年水泳公開	○
14	土			
15	日			
16	月		海の日 県小学校陸上競技大会	
17	火	朝読書	群読練習① 図書貸出(低) 学期末清掃週間～7/23	○
18	水	読書⑮	図書貸出(中) 万引き防止教室	○
19	木	学習⑮	図書貸出(高) 代表委員会 群読練習②	○
20	金	学習⑮		○
21	土			
22	日			
23	月	朝会	群読練習③	○
24	火	朝読書	運動会組織作り	○
25	水	朝読書	群読発表 学級懇談会 学校評議員会 通知票配付 心肺蘇生法講習会(PTA)	弁
26	木	終業式	終業式 校務部会	弁
27	金		夏季休業	
28	土		東桜学館説明会	
29	日			
30	月		反省職員会議 定例職員会議 教材教具点検作業 プール開放①	
31	火		プール開放②	

日	曜	朝活動	校内行事	給食
1	水		プール開放③	
2	木		プール開放④	
3	金		プール開放⑤	
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金		市地区対抗駅伝大会	
11	土		山の日	
12	日			
13	月			
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日		神町バトロール一斉バトロールデー	
20	月		転入生説明会 教育実習(8/20～9/28?)	
21	火		安全点検 職員研修会 PC研修	
22	水	始業式	2学期始業式 にこて週間	×
23	木	学習⑮	児童委員会⑧【児1】 運動会結団式 PTA保体部会	○
24	金	学習⑮	教育実習(8/24～9/21) 図書貸出開始 P理事会④	○
25	土		PTA奉仕作業	
26	日			
27	月	朝会	クラブ⑥ 運動会週間 応援練習開始	○
28	火	朝読書	ハートフル(4年) 身体測定(高)	○
29	水	読書⑮	身体測定(中)	○
30	木	学習⑮	たてわり班競技練習① 身体測定(低) 元気アップ週間①～9/8	○
31	金	学習⑮		○

神町地区開拓の精神を謳った「わたしたちの若木原」を発表します。全校生の声が体育館いっぱい響き渡り、その大迫力は、神小の伝統となっています。

- ・ 時間 14:00～14:30
- ・ 場所 講堂（体育館）

※内履きをお持ちください。

さくらんぼ

東根市立神町小学校だより

第 3 号

平成30年 7月 6日

TEL 47-0035

FAX 47-0275

回
覧

勉強は生活に役立っているか？

校長 青山博文

朝会の時、子どもたちに、6年生対象の全国学力学習状況調査のアンケートから気になったことを取りあげて、「勉強は生活に役立っているか」ということについて考えてもらいました。

以前は、勉強とは知識を身に付けることと考えられていましたが、知識がたくさんあればよかった時代は終わりました。

朝会では、算数で学習している図形を材料にして、子どもたちに、「なぜ、マンホールのふたは丸い（円）形をしているのか。」ということ問いかけてみました。話の中では、他にも三角形や長方形のふたを使って実演してみました。

丸い形（円）以外は、置き場所を選ばないと、穴の中に落ちてしまいますが、丸い形（円）ならどんな置き方をしても絶対穴の中に落ちませんでした。これは「円の性質」を上手に生活に生かしている例と言えます。

その他にも、マンホールのふたが円の形をしていることの利点についても話をしましたが、これとは逆に、円以外の形の方がいいものも世の中にはあることも説明し、どんな形がどんな時に生活に役立っているかについては、自分で考えてみようという問いかけをして終わりました。

算数の勉強が、学校の中で計算や面積を求めることだけで終わらずに、日常生活の中でも役立っていることや、生活の中のさまざまな場面で、いろんなことを判断する時の考え方にも、理科や社会科、国語などでの学校での勉強が役立っていることに気付いてもらいたいと考えています。

算数に限らず、今の大人が学校で習った時の勉強の進め方とはだいぶ違ってきています。正しい答えを出すだけでなく、「どうしてその答えに至ったのか自分の考えを説明させる活動」が増えています。また、題材によっては、正解が必ずしもなく、どの考え方がよりよいのかを選択するというものもあります。

そして、どの教科でも、知っていること、できることを使って、新たな知識を生み出すことができる子どもを育てようとしています。学校では、勉強したことが身近で使われていることに気づき、勉強することが生活の役に立っていることを実感し、学校を卒業してからも学び続ける子どもを育てたいと考えています。私も、NHKの番組キャラクター「チコちゃん」に叱られないように身の回りの「？」を追求していきたいと思っています。